

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード 8732 大証ヘラクレス)
 問合せ先 取締役経営企画室長 佐藤 直広
 (TEL. 03-4540-3804)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月10日に公表いたしました平成19年12月期（平成19年1月1日～平成19年12月31日）の通期業績予想について、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年12月期通期業績予想数値の修正（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

(1) 連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,980	3,060	1,930
今回修正予想 (B)	6,900	4,060	2,510
増減額 (B-A)	920	1,000	580
増減率 (%)	15.4	32.7	30.1
(ご参考) 前期実績 (平成18年12月期)	2,217	719	589

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 25,600円23銭

(2) 個別業績予想値の修正

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,980	3,090	1,950
今回修正予想 (B)	6,900	4,070	2,530
増減額 (B-A)	920	980	580
増減率 (%)	15.4	31.7	29.7
(ご参考) 前期実績 (平成18年12月期)	2,217	720	589

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 25,804円21銭

ご注意：上記の予想は、業績予想修正発表日現在において入手可能な情報及び経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる結果となる場合があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. 修正の理由

当第3四半期において、外国為替市場における主要通貨の為替変動が想定を上回って推移し、外国為替証拠金取引の顧客売買高が大幅に増加したことにより、当期の営業収益、経常利益、当期純利益ともに8月10日に公表した予想数値を上回る見込みとなったため修正を行うものであります。

8月の米国サブプライム問題に端を発する急激な円高により、当社顧客からの預り証拠金は一時的に減少し、8月末時点では7月末比マイナス12.7%となりましたが、その後外国為替市場が落ち着きを取り戻したことや顧客の新規口座開設が安定的に推移したことで、預り証拠金は増加に転じており顧客口座数も順調に拡大を維持しております。また、同要因により8月の顧客売買高は急増いたしました。当社では8月の相場急変時に約定可能かつインターバンク市場に則った適切な売買レートを顧客に提示し続けることを最優先させたため、平時と比較して顧客売買高に対する収益の割合はやや低下傾向となりました。

なお、業績予想数値は、7月、8月の実績及び足元の顧客基盤の状況を加味し算出しておりますが、本資料発表日以降の外国為替相場の変動による一時的な収益の増加については従来どおり織り込んでおりません。

以 上

ご注意： 上記の予想は、業績予想修正発表日現在において入手可能な情報及び経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる結果となる場合があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。